

旧赤松家だより

平成 30 年 11 月 21 日



肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、晩秋の気配が感じられるようになりました。旧赤松家の庭では、ツワブキが可憐な黄色い花を咲かせています。

今回は、旧赤松家記念館に展示されている「紙本金地著色源氏物語図」をご紹介します。しほんきんじちやくしよくげんじものがたりず六曲一双の屏風で、江戸時代後期に狩野派または土佐派の御用絵師によって描かれた作品だと推測されます。本作品は左隻にあたり、金雲により仕切りをしながら、紅葉賀もみじのが(第7段)、濔標みおつくし(第14段)、野分のわき(第28段)の場面が描かれています。徳川家十六代当主家達いえさとから赤松則良に拝領されたと伝えられる品の一つで、市の指定文化財になっています。この機会にぜひご覧いただければと思います。職員一同お待ちしております。



今月 21 日から内蔵ギャラリーでは吉村強さんの『水辺の風景画』展を開催しています。国内外の港や河岸の船を描いた作品約 25 点が展示されています。ぜひ、ご覧ください。

内蔵ギャラリーのご案内

『水辺の風景画』展

開催期間：11月21日(水)～12月4日(火)

*休館日 26日(月)、27日(火)、12月3日(月)

開催時間：午前9時～午後4時30分

(最終日は午後2時30分まで)

入場料：無料

出展者：吉村 強

問い合わせ：旧赤松家記念館 0538-36-0340



「展示作品から」